

2024年12月6日
KHネオケム株式会社
(証券コード 4189、東証プライム)

四日市工場における一部溶剤の生産・販売終了について

KHネオケム株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:高橋 理夫)は、四日市工場で生産している一部の溶剤について、2025年12月をめぐりに生産・販売を終了することを決定しました。

このたび生産・販売終了を決定した溶剤(※)は主に塗料やインキの原料として用いられていますが、需要回復の遅れに加え、原燃料価格の高騰や製造固定費が増加するなど、事業環境は一段と厳しさを増しています。当社では、これまでも生産効率の改善など継続的に取り組んでまいりましたが、中長期にわたり事業を維持するための収益確保が困難であると判断しました。

当社は、今後も事業ポートフォリオの変革を進めつつ、世の中に欠かせない特色ある素材の提供を通じて社会に貢献し、当社自身も持続的に企業価値向上を高めていく「サステナブル経営」を推進してまいります。

(※)生産・販売終了製品

対象製品	MIBK(メチルイソブチルケトン) DIBK(ジイソブチルケトン) ダイアセトンアルコール ブチセルアセテート ブチセノール20アセテート
生産拠点	四日市工場
生産・販売終了時期	2025年12月(予定)

【KHネオケムについて】 ※2023年12月末時点。

社名	KHネオケム株式会社
代表	代表取締役社長 高橋 理夫
設立年	2010年12月(前身の協和油化は1966年11月設立)
資本金	8,855百万円
本社	東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号
従業員数	連結 831名
事業内容	各種石油化学製品の研究・製造・販売
主要製品群	機能性材料(冷凍機油原料・化粧品原料など) 電子材料(半導体およびフラットパネルディスプレイ用高純度溶剤など)

	基礎化学品(塗料およびインキ用溶剤・プラスチック用可塑剤原料など)	
グループ会社	黒金化成株式会社／株式会社黒金ファインズ／KH Neochem Americas, Inc. ／晟化(上海)貿易有限公司	
沿革	1948年	協和産業(株)(後の協和発酵工業(株))が、日本で初めて発酵法により、糖蜜からアセトン・ブタノールの大量生産を開始
	1949年	協和発酵工業(株)設立(現:協和キリン(株))
	1966年	協和油化(株)設立(協和発酵工業(株)の化学品製造子会社)
	2004年	協和油化(株)に協和発酵工業(株)の化学品事業を統合し、協和発酵ケミカル(株)発足
	2011年	協和発酵ケミカル(株)が協和発酵キリン(株)(現:協和キリン(株))グループから独立
	2012年	協和発酵ケミカル(株)からKHネオケム(株)へ社名変更
	2016年	東京証券取引所市場第一部に上場
	2022年	東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、プライム市場へ移行

【本件についてのお問い合わせ先】

◆報道関係者からのお問い合わせ先

KHネオケム株式会社 広報・IR 部
 TEL:03(3510)3579 FAX:03(3510)3571
 東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号
<https://www.khneochem.co.jp/>

◆製品販売に関するお問い合わせ先

KHネオケム株式会社 事業部
 TEL:03(3510)3552
 WEB フォーム:[製品・SDS についてのお問い合わせ](#)